

小規模多機能型居宅介護「サービス評価」 総括表

| | | | | | |
|------|-----------------------------|-----|------|-------------------|---|
| 法人名 | 社会福祉法人 地域でくらす会 | 代表者 | 井上 徹 | 法人・ 事業所 の特徴 | いくのさん家の基本理念「関係性こそ、その人らしさ どう生きたいか、に立ち返る ひとりの支援は、地域を変える」に沿って、住み慣れた自宅や地域での生活が安心して継 続出来るよう支援している。事業所が小さく、とても家庭的な雰囲気の中で、ご 利用者様ひとりひとりに楽しんで頂けるよう心掛けている。 |
| 事業所名 | 小規模多機能ホーム 吉方温泉いくのさん 家 | 管理者 | 小林 亮 | | |

| 出席者 | 市町村職員 | 知見を有するもの | 地域住民・地域団 体 | 利用者 | 利用者家族 | 地域包括支援センター | 近隣事業所 | 事業所職員 | その他 | 合計 |
|-----|-------|----------|---------------|-----|-------|------------|-------|-------|-----|-----|
| | 1人 | 1人 | 3人 | 1人 | 1人 | 1人 | 0人 | 2人 | 0人 | 10人 |

| 項 目 | 前回の改善計画 | 前回の改善計画に対する取組み・結 果 | 意見 | 今回の改善計画 |
|--------------------|--|--|--|---|
| A. 事業所自己評価 の確認 | 大きめの紙で「～したい」リストを作り、掲示。実現可能なものは個別支援など、計画していく。取り組みの様子は運営推進会議の時に、参加メンバーに見て頂けるようにする。 | 実施、いくつかは個別支援として実現できた。ただし、時間経過とともに意識が薄れてしまった。また、「～に行きたい」等の希望が多く、コロナ禍の中実現が難しかった。 | ・改善計画の取り組みについて、出来ていない項目もあるが、コロナ禍でありながら職員の評価としては「なんとか出来ている」が多く、よく頑張っていると思う。 | ・まだ思いを聞き取れていないご利用者様もいるので、まずは「～したい」リストをしっかりと埋めること。 ・意思表示できない方に関しては、ご家族からの聞き取りや、ご本人の様子等から想像し、考える。 ・実現可能なものは、全体の行事ではなく個別支援として、実施を検討する。 |
| B. 事業所の しつらえ・環境 | 静養室の片付け。布団を必ず上げるようにする。 | 意識してきれいにするようには努めた。まだまだ忘れていたりする事はあるものの、以前よりも改善はみられる。 | ・事業所に入れていないので、様子がわからない。 ・書面会議なので確認できないが、環境については前回同様、問題はないと思う。 | ・ソファのある狭い空間がご利用者様の過ごす場所になっており、移動時など足に引っ掛かりそうになり危険なことがある。ご本人の希望もあるため可能な限りにはなるが、台所側とソファ側に空間を分け、なるべく分散できるようにしてみる。 |
| C. 事業所と地域のかかわり | 回覧板にお便りを挟んでもらう。年3回。また、お便りに介護に関するお悩み相談など、記入してみる。 | ご利用者様が写っているおたよりが近隣に配られることについてご家族の了承を得る事や、諸々追いついておらず、実施できなかった。 | ・地域のかかわりについては、コロナによって難しくなっていると感じている。地域の行事、イベントも中止となった。 ・(事業所への出入りについては)感染予防の観点から入らない方 | 令和3年度のおたより発行までに、ご家族の了承を得ること。地区の回覧板に挟んでいただく。 |

| | | | | |
|-------------------------|--|--|--|---|
| | | | が良い。当面は、現状のままで問題ないと思います。 | |
| D. 地域に出向いて本人の暮らしを支える取組み | 職員対象に、地域資源の勉強会の実施。地域での暮らしについて、職員も知見を深める。 | 達成。ただし、新規採用など勉強会に参加できなかった職員からは、「地域資源が何のことかわからない」との意見が多い。 | ・事業所は開放的で自由に入出入り出来ていると思います。 | 前回のもの同様、次回サービス評価までに地域資源の勉強会を実施。不参加の職員に対しても、資料配布、説明し全職員に伝わるようにする。 |
| E. 運営推進会議を活かした取組み | 事業所職員も地域の方々の意見を知るために、運営推進会議へ介護職員が参加できるようにする。 | 今年度の会議は新型コロナウイルス感染症防止のため全て書面会議となったため、達成できなかった。 | <ul style="list-style-type: none"> ・運営推進会議が書面会議となり、検討することはなかなか難しかったと思うが、出た意見については検討されている。 ・運営推進会議で出た意見を、どれだけ些細なことでも職員会議で話すようにしてはどうか。 | <ul style="list-style-type: none"> ・運営推進会議の議事録回覧が甘く、職員が内容をしっかりと把握できていなかった。合議の印を必ずするようにし、漏れの無いようにする。 ・運営推進会議で出たご意見、検討事項は、毎月の職員会議の中で必ず話し合いを持つようにする。 |
| F. 事業所の防災・災害対策 | 想定浸水深をテープで貼り、防災の意識を高める。 | 防災マップで確認したが正確な想定浸水深がはっきりわからず、未実施のままとなった。 | ・この辺りはそもそも浸水被害がまず起こらない。 | 地震を想定した避難訓練を実施。近隣の方にもお願いするが、コロナ禍で事業所への出入りは難しいので、全体の総括や避難場所への移動など、できる範囲で協働できるようにする。 |

